



自民党

練馬区議会議員 第五十九代議長 関口 かずお



- 常任委員会** 企画総務委員会 委員長
- 特別委員会** 総合計画等特別委員会 委員
- 各種委員会** 民生委員推薦会
文化振興協会評議員会

ご相談は… 関口かずお 事務所
〒176-0021 練馬区貫井 3-53-8
Tel / Fax : 3998-1752

1人 1日 1kg
めざせ!1人、1日、1kg CO₂削減

CO₂削減のために 一人ひとりが出来ること

6つのアクション

チーム・マイナス 6%では、CO₂削減のために、具体的な6つのアクションを提案します。

日々のちょっとした気遣いが、積み重なれば大きな削減に。チーム全員が実施すれば、確実に大きな削減効果が期待できます。そのための第一歩は、まず、あなたが出来ることを、行動に移すこと。まずは身近なところから、取り組んでみてください。

- 1 温度調節で減らそう**
冷房は 28℃、暖房時の室温は 20℃にしよう
- 2 水道の使い方減らそう**
蛇口はこまめにしめよう
- 3 自動車の使い方減らそう**
エコドライブをしよう
- 4 商品の選び方で減らそう**
エコ製品を選んで買おう
- 5 買い物とゴミで減らそう**
過剰包装を断ろう
- 6 電気の使い方減らそう**
蛇口はこまめにしめよう

CO₂削減のために1人ひとりが出来ること

温暖化防止で大切なのは、一人ひとりが出来ることから実践すること。国民1人当たりが排出するCO₂の量は、1日平均で約6kgです。あなたも1人1kgのCO₂削減をめざしましょう。

財政運営RNSU

Q1 現在の厳しい経済情勢についての区長の認識を伺う。

A1 今後も経済の動向を注視しながら、適時適切に対応することを基本として現下の情勢に臨む。 区長

Q2 国の新たな更なる追加経済対策は、これまでにない、新機軸の対策と考えるが、区長の評価と認識は。また、地方向けの新たな臨時交付金が設けられるが、今後、区の施策にどのように活用するか考えを伺う。

A2 新たな国の経済対策については、想定されているとおりの経済対策をもたらしことを期待する。また、今回、交付金などが措置されているが、適切に対応し、区内経済の活性化に努める。 区長

Q3 今後の財政運営について、地方債の発行は、今後の財政運営の基本方針となる課題と考えるのが、財政規律の配慮し必要と考えるが、如何か。

A3 歳出面では、財源配分に徹し、更なる精査が重要である。また、これまで積み重ねてきた基金も活用しながら、持続可能性のある適切な財政運営に努める。なお、地方債の活用については、積極的活用について検討する。 区長

Q4 区の緊急経済対策についての現時点での進捗状況について伺う。

平成21年第一回 練馬区議会定例会 一般質問

要約・要旨

況と評価および補正予算編成に向けた検討状況は。

A4 全事業の第1四半期執行率は、金額ベースで85%の見込みで、前倒しの成果があった。また、新たな需要創出が、区内事業者の経営支援と区民生活の安定に著実に結びつくよう、多角的な視点で検討する。



次期長期計画等について

Q1 新基本構想について、審議会から答申がなされたが、区長の見解を伺う。また、区の様々な計画との整合性をどのようにして図っていくのか考えを伺う。

A1 新基本構想の素案と合わせて、次期長期実施計画についても検討を進め、総合的な計画体系を構築する。 区長

Q2 次期長期計画の策定準備に入っているが、現時点における今後の5年間の財政推計と見直しについて伺う。

A2 一般財源の収入見通しは大変厳しい状況にあるが、過去の経験も参考にしながら、引き続き検討を進める。

Q3 積極的な経済対策として、財政効果のため企業誘致などを計画事業化を検討すべきと考えるが如何か。

A3 区有地や学校跡施設などの有効活用を図り、積極的に検討する。

Q4 環境を機軸とした経済対策について、グリーンニューディール対策を検討すべきと考えるが、如何か。

A4 今回提案を頂いた中で、その事業化を検討する。

Q5 地球温暖化地域推進計画について、今後、どのような具体的な施策として推進していくのか伺う。

A5 事業の効果的な推進のため、協議会を設置し、今後の、推進体制をせいび・強化する。

Q6 今年度で予算化された電気自動車について、その活用策を検討しているのか伺う。また、電気自動車は、区で課税できる軽自動車税の対象であるので、減税や免税を検討すべきと考えるが、所見を伺う。

A6 区民啓発事業として、区立施設や地域のイベントに参加し、積極的にPRする。また、減免については、税制や減入等について検証し、検討する。

新型コロナウイルス感染症

Q1 感染拡大は、健康増進のみならず市民生活全般に大きく影響するので、区は、どのような基本方針で臨むのか伺う。また、区民の不安を払しょくするため、あらゆる情報伝達手段で積極的な情報提供を必要とするが、考えを伺う。

A1 組織内での情報共有を重視し、組織横断的な対応に努める。また、不安を払しょくするための情報提供について、HPを適宜活用し、迅速に提供される。

Q2 中学校生の関西方面への修学旅行を教育委員会が、中止要請したが、延期など代替措置を検討したいが如何か。また、中止した場合のキャンセル料について、公費にて対応すべきと考えるが所見を伺う。

A2 修学旅行が実施できるよう旅行業者との調整等をする。また、キャンセル料について、今後、議会のご意見を伺いながら適切な対応を図る。 教育長

RINKU RNSU

Q1 アヌシー市等との協定調印について、区長の決意と将来構想を伺う。

A1 アヌシー市との産業交流を深めることにより、区内のアニメ事業者の国際的なビジネス展開と地域経済の活性化を実現することが、今後の区の発展に重要と考える。

Q2 練馬区のアニメ産業を広く発信するため、西武鉄道でのラッピング電車を運行したが、他の運輸事業者にも更なる協力を求めることが必要であると考えるが、所見を伺う。

A2 これからも協力関係を呼びかけ、連携を深める。

Q3 練馬区では、都の創造的都市型産業集積、創出助成の第一号の承認を受けたが、今後は、国との連携も必要と考えるが、如何か。
A3 国との情報交換を開始し、区のアニメ産業を発展させます。